



センチピードグラス 吹き付け工法による 畦畔の雑草抑制方法

愛媛県西条市
有限会社 だるま製紙所

センチピードグラスの効果



除草作業の回数が減る
作業が楽になる

大きな負担となっている除草作業



ため池の除草作業風景



農道の除草作業風景

3

主な工法

① 苗の定植



(写真)全農岡山県本部営農・担い手対策本部HPより

② シート張り付け



(写真)タキイ種苗株式会社HPより

③ 種子吹き付け



4

吹き付け施工のメリット

① 作業効率の良さ

100㎡当たり約2分
単年度で大面積の施工が可能

② 他の工法と比較して価格が安価

③ 整地作業等は不要

凹凸のある既存畦畔でも施工が容易

吹き付け施工の問題点

① 天候に左右されやすい

雨量が少ないと発芽が少なくなる
逆に、多すぎると種が流亡することも

② 雑草との競争

種子からのスタートなので、苗よりも弱い
シート張り付けより雑草の発生が多い事も

成功のキは

①しっかり準備すること と ②適切に管理すること



準備開始時の様子



施工後の様子



完成直後の様子



9年後の様子

7

成功へ向けたスケジュール

説明会の実施



現地の確認(種子散布前年)



準備状況の確認(種子散布前年 秋)



準備状況の確認(種子散布年 春)



種子散布(6月が主)

管理状況の確認(種子散布年 夏と秋)



管理状況の確認(種子散布翌年 春と夏)

8

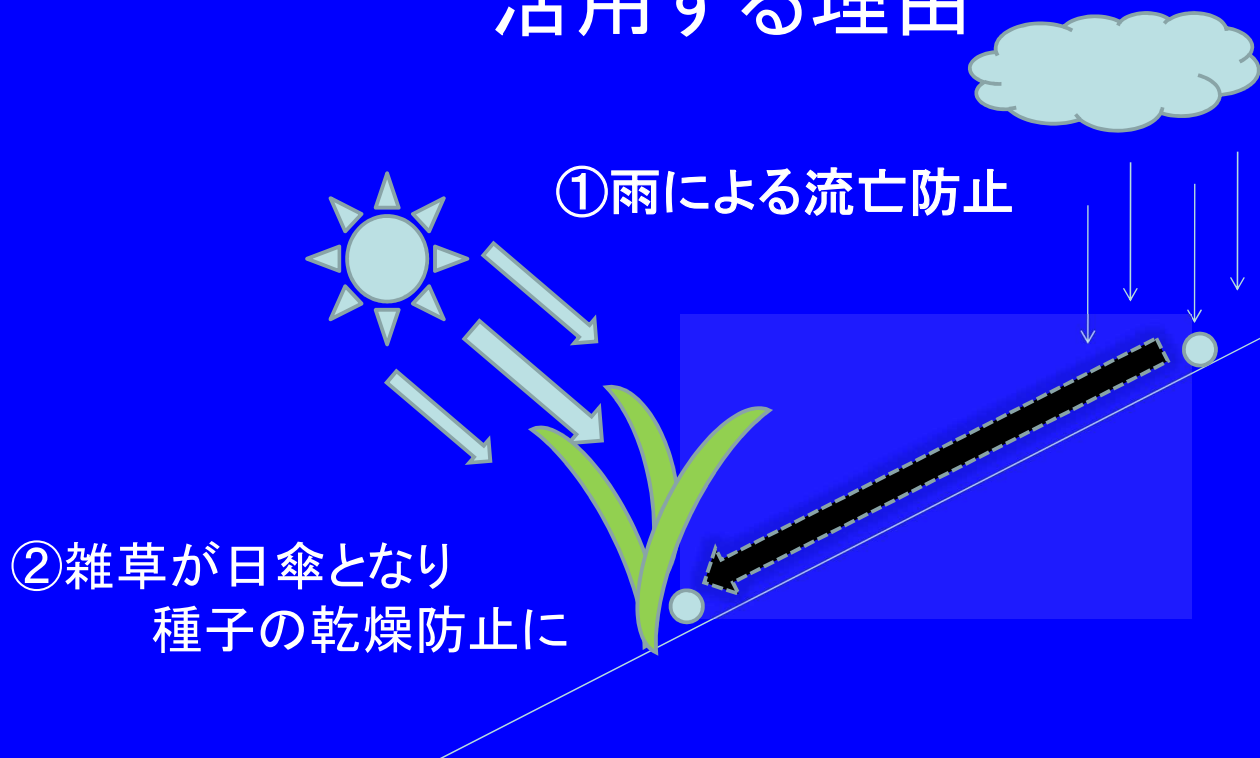
だるま式の特徴



雑草が生えた状態での成功率が高い

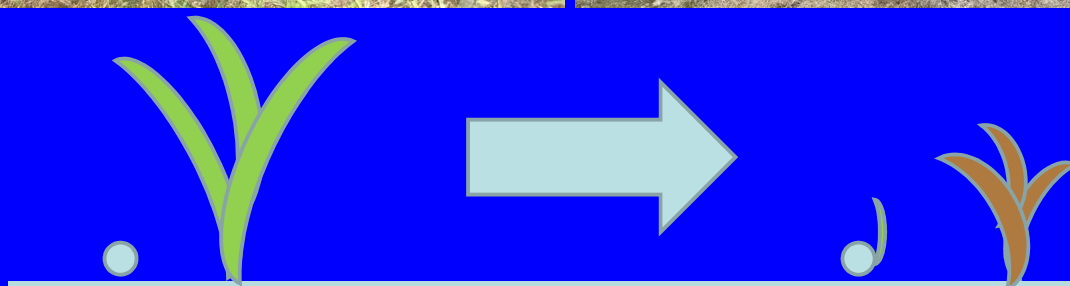
9

雑草をあえて発生させ 活用する理由



10

③時間差を活かす



11

畦の変化 ①



畦の緑が広がり、成長がわかるようになる

12

畦の変化 ②



播種した翌年の完成を目指します

13

吹き付け後枯れそうになった畦



吹き付けして4年目に過密が原因で枯れ始めた。密植状態にならないよう、冬場に刈り込む。

14

土地改良の付帯工事としての依頼



新規造成された圃場への散布依頼が増加しています

15

1. 集落協定の概要

市町・協定名	<small>みはらし だいわちょう ふくだ</small> 広島県三原市 大和町 福田			
協定面積 65.3ha	田 (100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 622万円	個人配分 0% 共同取組活動 (100%)			
		集落の各担当者の活動に対する経費	3%	
		センチビードグラス吹き付け経費	72%	
		水路・農道等維持管理経費	24%	
		事務経費	1%	
協定参加者	農業者35人、非農業者30人、水利組合			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

福田集落は三原市の北部に位置し、水稻を中心に営農が行われている地域であり、高齢化の進行による耕作放棄地の発生が懸念されていた。このような中、平成12年度から中山間地域等直接支払制度に取り組み、地域住民による共同取組活動として農地や農道・水路等の施設の維持管理や有害鳥獣の防護柵設置等を行ってきたところである。

3. 取組の内容

第3期対策に移行する際に交付金の個人配分をとりやめて、全て共同取組活動費として使用することとし、地域住民の高齢化に伴って農道や水路等の法面管理が困難になりつつあったことから、草刈活動の労力軽減を行うため集落全体をカバープランツで被覆することを活動の柱とし、地域農業の担い手が農業生産活動を継続しやすい環境を整えることとした。

平成22年度にセンチビードグラスの吹付機を共同機械として導入し、計画に基づいて順次、吹付面積を拡大している。



16

(有)だるま製紙所

〒799-1325

愛媛県西条市新市396-2

TEL 0898-66-5057

FAX 0898-66-5770

URL <https://www.daruma-s.com>